

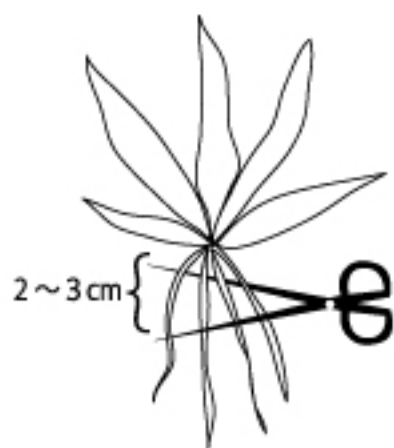


購入した水草の植え方のコツ

はじめに 水草取り扱い時のご注意

水草を扱う時は、必ず手を濡らします。
これは手の表面温度(36℃)を水温まで下げて、水草を火傷させないためです。
できるだけ水中で扱い、葉や茎が折れないようにていねいに。
(折れた葉や茎は枯れてしまいます)

①長い根は2～3cmにカット



②ピンセットは水草のいたんでもよい部分を使う。

茎のない水草 (非有茎草)



根…新しく生え変わるから。

茎のある水草 (有茎草)



節と節に
囲まれている部分
…葉や根が出る。

節に囲まれていない部分
…とけてなくなるから。

③深すぎないように植える。

水草の根と茎の間には呼吸のためのセンサーがあるといわれ、この部分が埋まったり、チリでふさがれたりすると、生育が少しずつ悪くなります。

「浮かない程度に浅く植える…」これがベテランの植え方です。

④同じ種類は順番に植えていく。

水草の1本1本は弱いものです。群れをなすことにより、自分たちの周囲に自分たちにあつた生息環境を作りだします。

できるだけ密生するように植えていくと、以降の育ちがよくなります。

※有茎草とは茎をもつ水草。茎にある節から葉を出し、また砂中にある節からは根を出します。
※非有茎草とは明確な茎をもたない水草を総称して呼んでいます。(ペンギンビレッジでの呼称)